

2022年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人青梅わかば福祉会 ジョイントワークひこばえ

代表者・役職名 理事長 氏名 菅原 徹夫

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

水耕栽培用抗菌定植パネルの購入

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

精神障害者が地域の中で交流を深め、自分たちの力を試し社会参加や経済的自立の足掛かりとなる場所づくりを求める当事者、家族、関係者の声から、保健所主催の地域精神保健福祉専門委員会から産声があがり、1991年4月に任意団体として設立。2006年9月のNPO法人格取得を経て、現在は就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業を行っています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

従来までは室内作業を主として行ってきたが、精神障害者の経済的基盤を少しでも強くしていくためには新しい方法による安定した工賃支給が不可欠であると考え、水耕栽培を用いた農作業を導入し2016年11月に事業を開始しました。6年目を迎え更に事業を成長させにあたって、消耗品の中でも特に劣化の激しい定植パネルの交換が必要急務となり今回の申請をさせていただきます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

劣化の激しい定植パネルを抗菌作用が付加された製品に交換することによって、水耕栽培では必ず発生する藻(植物性プランクトン)の付着や野菜の根の混入を最小限に防ぎ、これまで多大な労力をかけていたパネル洗浄作業を効率化するとともに、雑菌の繁殖を抑制することにより、野菜の生育環境を従来より良好な状態に保つものです。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

パネルの洗浄作業が効率的に行えるようになり、ハウス内の温度が上がる夏季においては労力の軽減はもとより、利用者の方の体調を良好に保つという面でも役立っています。また、現在までのところ旧来の汚れが付着しやすいパネルを使用していた時に比べて、害虫による食害も最小限に抑えられており収穫量の増加が見込めています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

これまでは野菜の生産・出荷を行ってきたが、販路の拡大など既存のやり方での工賃額の上昇は困難になってきており、生産量を上げていくことに加えて野菜の加工・販売など新たな方向性の開拓が課題になっています。また、水耕栽培の現場においては既存の休憩場所の充実(屋外の休憩所への屋根の設置)などが急務となっています。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



令和4年8月30日発行

ひこばえしんぶん 124号

発行元 NPO法人青梅わかば福祉会 ジョイントワークひこばえ
〒198-0014 青梅市大門2丁目261-1
TEL0428-32-8757 FAX0428-32-7293
ホームページ [http:// hikobae-wakaba.com](http://hikobae-wakaba.com)

暑さのピークも超え、朝晩は少し涼しさを感じる日が増えてきたように感じます。コロナ禍となって約2年半が経ち、ひこばえでは既に4回目のワクチン接種を済ませたメンバーも出て来ました。また2名の新しいメンバーが増えたり新しい事に挑戦するメンバーがいたり、ひこばえの雰囲気に変化を感じています。

オンライン会社説明会に参加しました！

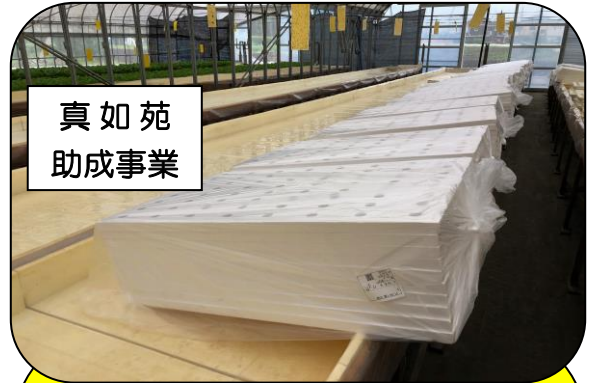


ファームひこばえ

肥料の値段の高騰が少し前に報道されていましたが、それに加えて電気など光熱費の値上げもファームひこばえの水耕栽培を直撃しています。

葉物野菜などは一見国内で自給できているように思いがちですが、実は様々な部分を輸入に頼っています。農業に携わっているおかげで、他とは違った側面からも平和の有難さを実感する今日この頃です。

【水耕栽培で使用している物品の輸入元】
種・・・アメリカ、ニュージーランド、オランダ
肥料・・・中国、ポーランド、イスラエル



真如苑
助成事業

水耕用パネルを 200枚購入しました

新しいパネルは銀イオンが含まれているので抗菌作用があり、汚れにくく付着した汚れも洗い落としやすいパネルです。

開設時に購入したパネルは、約5年の月日で破損したり、ひび割れなどの劣化で汚れが深く入り込んだりと洗浄作業が大変でしたが、効率良くできるようになりました。

「青果市場」ってどんな所？

野菜が沢山収穫できた時は市場に出荷をしています。いつもは職員が納品しますが、今回は東久留米市場（東京都東久留米地方卸売市場）に利用者の方と行ってきました。

「でかい」「広い」が第一声でしたが、いろんなコンテナ（出荷用のケース）があって面白いといった声もありました。短い時間でしたが普段見ることない光景にみんな興味深々で見入っていました。



東久留米市場に行って

小松菜の出荷に東久留米市場に職員を入れて4人で行きました。青梅市藤橋にある市場（東京都青梅青果卸売市場）と違い、すごく広く野菜や果物が置いてあり、それを保管する冷蔵庫も沢山ありました。

出荷待ちの野菜や果物も屋根付きの広場に置いてあり、外国産や国産といったものがいっぱい置いてありました。

【シナモン】